

スポーツ傷害Ⅱ		講義	教授 川崎 一朗
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門選択科目	科目ナンバリング	12361304

1. 授業のねらい・概要

柔道整復師にとって医療現場、スポーツ現場に従事する際には、実際に骨折・脱臼のみならず多くの軟部組織損傷を扱うこととなる。このスポーツ傷害Ⅱでは、これまでに学習した上肢部の骨折・脱臼に加えて、主に医療現場およびスポーツ現場で発生が多い軟部組織損傷を学んでいく。具体的に、上肢部軟部組織損傷に関する病態・症状、鑑別・評価方法、応急処置、保存療法（または観血的療法）、およびリハビリテーションに関して知識を習得し、理論的に学んでいく。また、本講義では各部位の臨床と機能・解剖を結びつけて理解することにより、各外傷・障害を体系的に理解するとともに、スポーツリハビリテーションⅡと組み合わせていくことで、臨床現場およびスポーツ現場への応用につながる知識を総合的に身につけていくことを目指す。

2. 授業の進め方

主に Power Point を用いたスライドおよび板書による講義形式で授業を行う。必要に応じて DVD などのメディアを教材として利用し、イラストを中心にわかりやすく編集された教科書を補足的に用いる。

3. 授業計画

1. ガイダンス	9. 上腕骨外側上顆炎・内側上顆炎、パンナー病、変形性関節症
2. 肩関節周囲の機能・解剖	10. 前腕コンパートメント症候群， intersection syndrome,
3. 腱板断裂・上腕二頭筋腱損傷	11. 手関節周囲の機能・解剖
4. スポーツ障害①（ベネット損傷，SLAP 損傷，インピンジメント症候群）	12. 手関節捻挫，TFCC 損傷，手根不安定症，ド・ケルバン病，キーンベック病
5. スポーツ障害②（リトルリーガー肩），その他の疾患（動揺性肩関節，肩関節周囲炎）	13. マーデルング変形，ステナー損傷，その他の靭帯損傷，ロッキングフィンガー，ばね指，手指の変形
6. 肘関節周囲の機能・解剖	14. 絞扼性神経障害（肩甲部，上肢部）
7. 肘関節内側側副靭帯損傷・肘関節後外側回旋不安定症	15. まとめ
8. 野球肘	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく（1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答のポイントおよび出題意図を試験終了直後に説明する。

6. 授業における学修の到達目標

各項目の要点をまとめて記述できるようになる。また、本講義で得た知識を通じて実技を実践できるようにする。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（15%）小テスト（15%）定期試験の結果（70%）によって評価する。

8. テキスト・参考文献

- ①柔道整復学・理論編改訂7版社団法人全国柔道整復学校協会南江堂
- ②毎授業で資料を配布する。

9. 受講上の留意事項

携帯電話の使用，飲食，帽子の着用は認めない。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は接骨院における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。